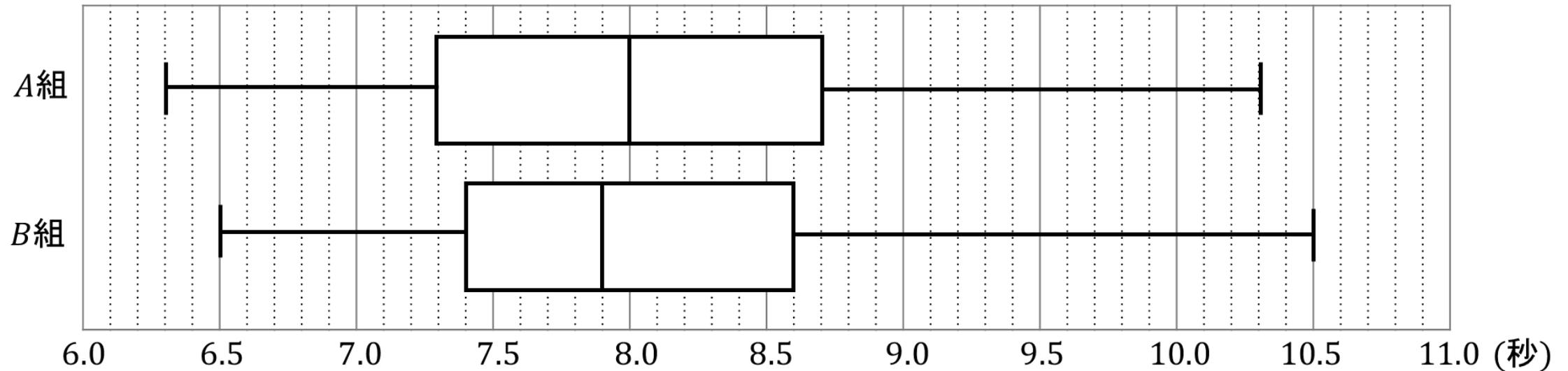


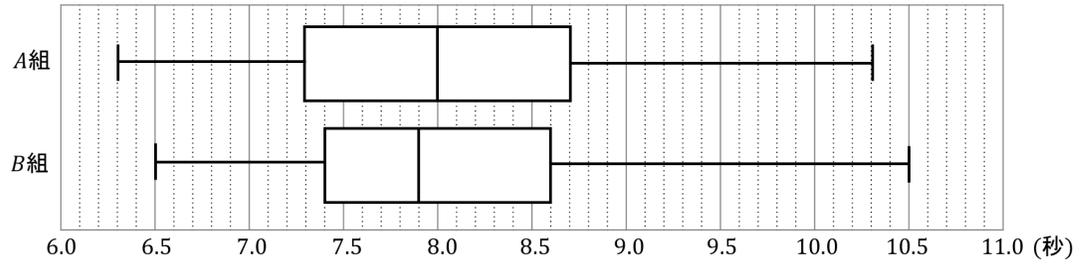
下の図は、A組、B組全員の記録を、それぞれ箱ひげ図にまとめたものです。
データの散らばりの程度について、図から読み取れることとして最も適切なものを、
次のア～エから1つ選びなさい。

北海道



- ア 範囲は、A組の方がB組よりも小さい。
- イ 四分位範囲は、A組の方がB組よりも大きい。
- ウ 平均値は、A組の方がB組よりも小さい。
- エ 最大値は、A組の方がB組よりも大きい。

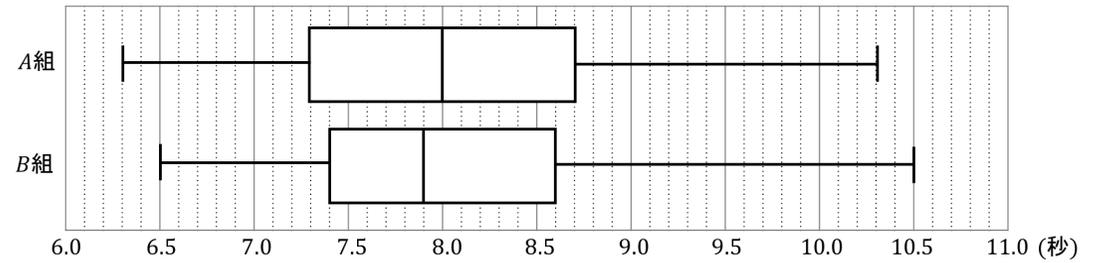
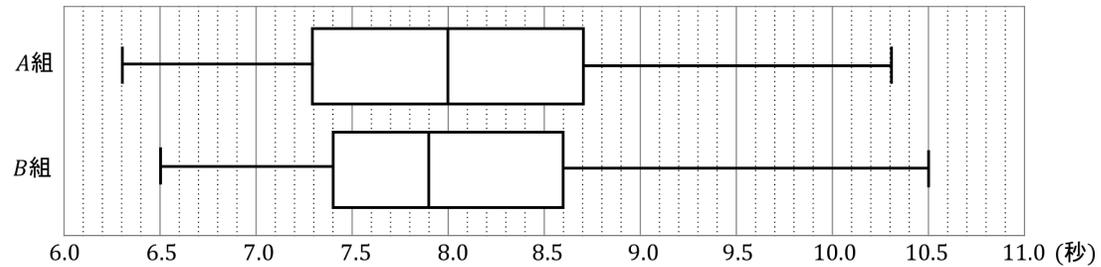
ア 範囲は, A組の方がB組よりも小さい。



ウ 平均値は, A組の方がB組よりも小さい。

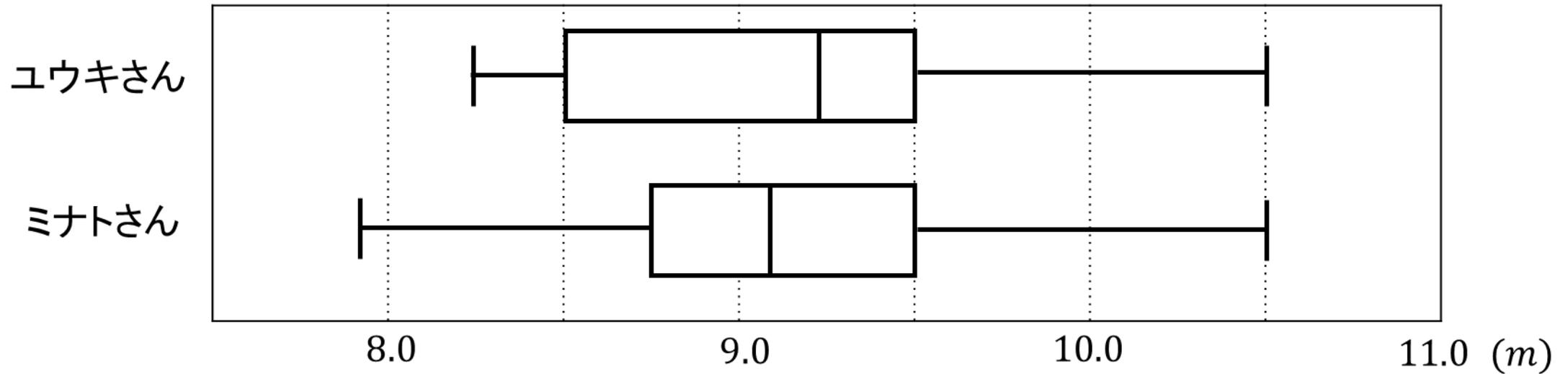
エ 最大値は, A組の方がB組よりも大きい。

イ 四分位範囲は, A組の方がB組よりも大きい。



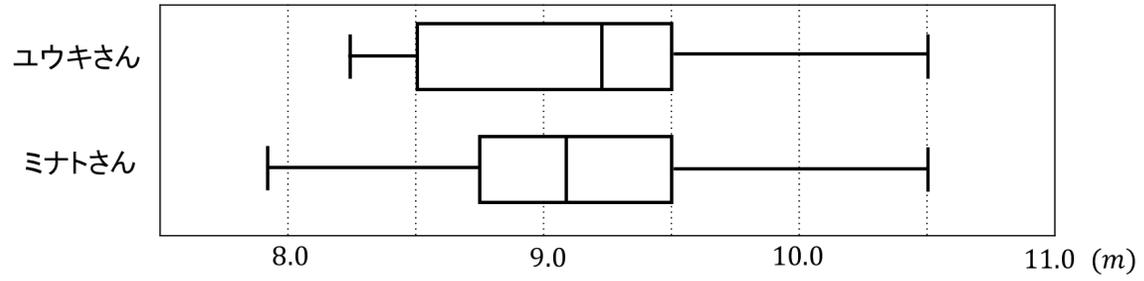
ユウキさん, ミナトさんの2人の砲丸投げ選手がいる。下の図は, 最近20回分の記録を箱ひげ図に表したものである。箱ひげ図から読みとれることとして正しいと判断できるものを, 下のア~エから2つ選び, 記号で答えなさい。

島根

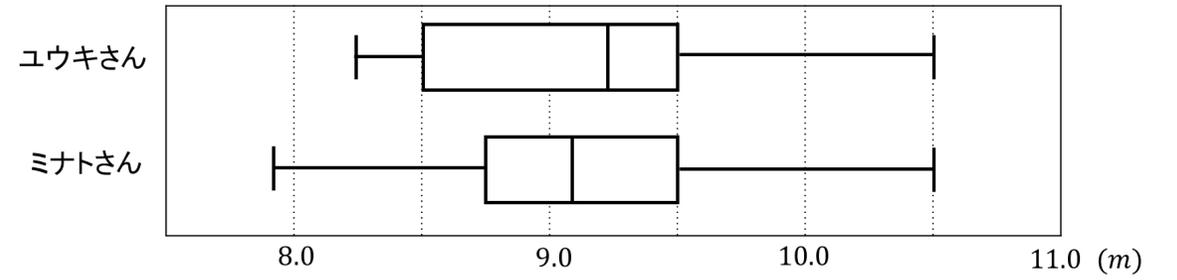


- ア ミナトさんの方が最小値が小さい。
- イ ミナトさんの方が範囲も四分位範囲も大きい。
- ウ 2人とも9.0m以上の記録が10回以上ある。
- エ ユウキさんの8.5m以下の記録は5回である。

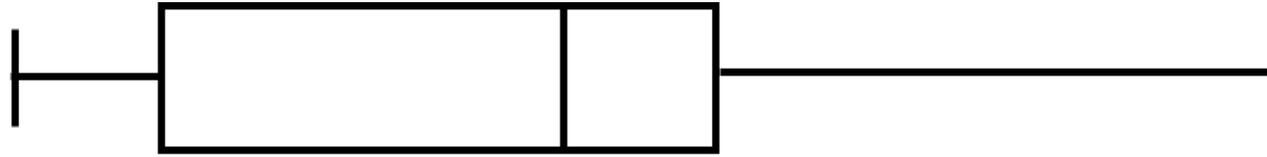
ア ミナトさんの方が最小値が小さい。



イ ミナトさんの方が範囲も四分位範囲も大きい。

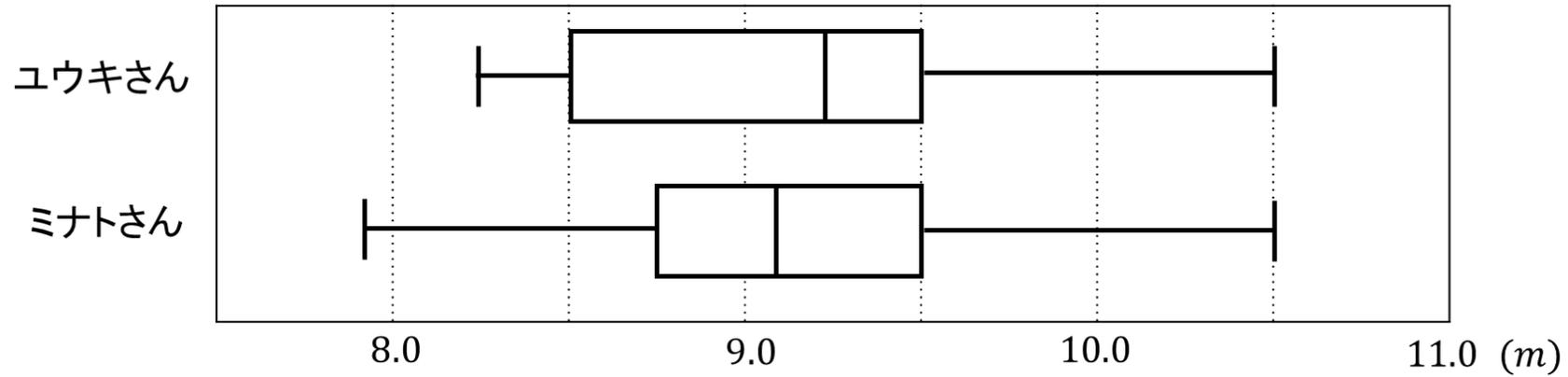


全部で20回だから



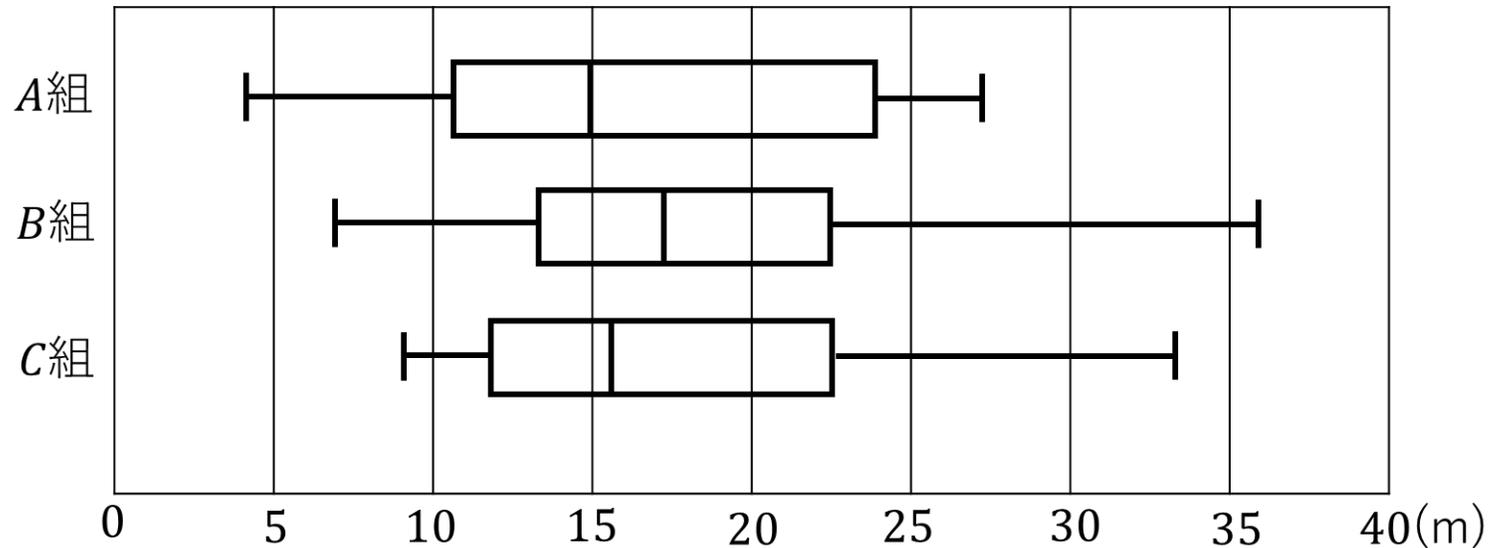
ウ 2人とも9.0m以上の記録が10回以上ある。

エ ユウキさんの8.5m以下の記録は5回である。

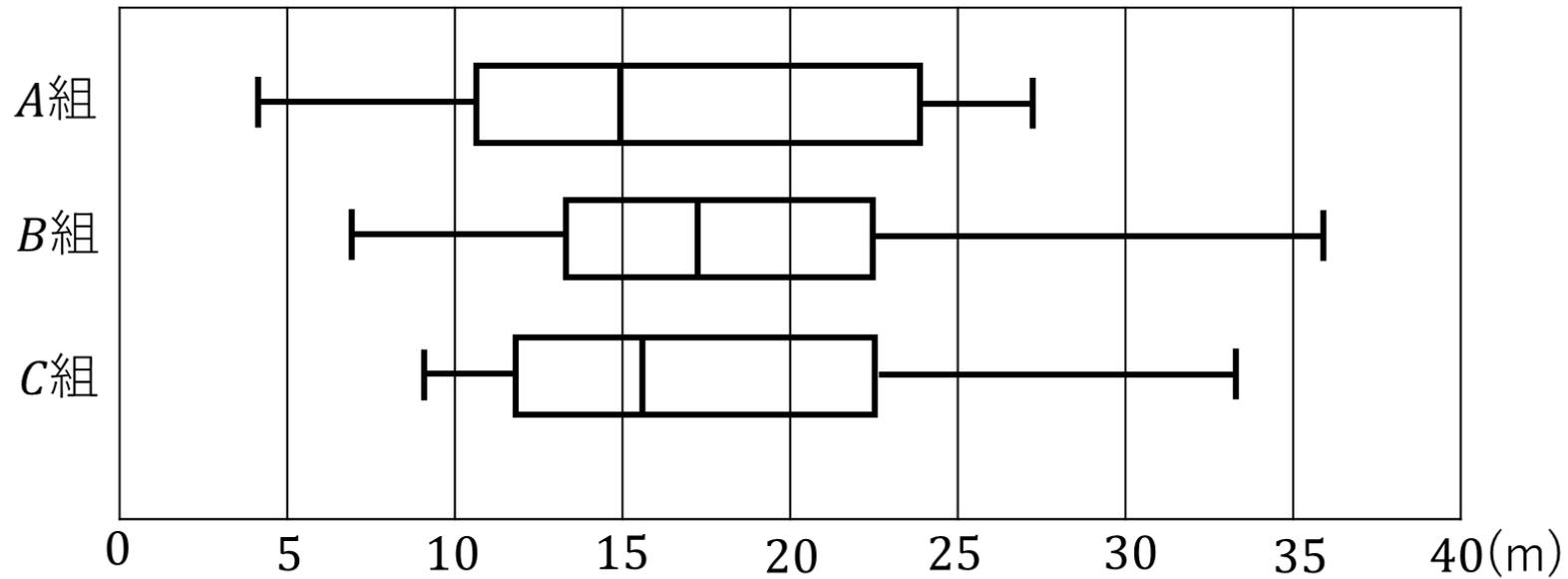


下の図は、ある中学校の2年A組、B組、C組それぞれ生徒35人の、ハンドボール投げの記録を箱ひげ図に表したものである。このとき、ハンドボール投げの記録について、図から読み取れることとして正しいものを次のア～オからすべて選び、その符号を書きなさい。

新潟



- ア A組、B組、C組のいずれの組にも、30mを上回った生徒がいる。
- イ A組とB組を比べると、四分位範囲はB組の方が大きい。
- ウ B組とC組を比べると、範囲はB組の方が大きい。
- エ A組は、10m以上15m以下の生徒の人数より、15m以上20m以下の生徒の人数の方が多い。
- オ C組には、25m以下だった生徒が27人以上いる。



ア A組, B組, C組のいずれの組にも, 30mを上回った生徒がいる。

イ A組とB組を比べると, 四分位範囲はB組の方が大きい。

ウ B組とC組を比べると, 範囲はB組の方が大きい。

全部で35人だから



エ A組は, 10m以上15m以下の生徒の人数より, 15m以上20m以下の生徒の人数の方が多い。

オ C組には, 25m以下だった生徒が27人以上いる。

